

2024年
4-6月期

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、回復している。

●2024年4-6月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



やや良い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

2024年4-6月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同期を下回りました。中古車販売台数は前年同期を上回りました。

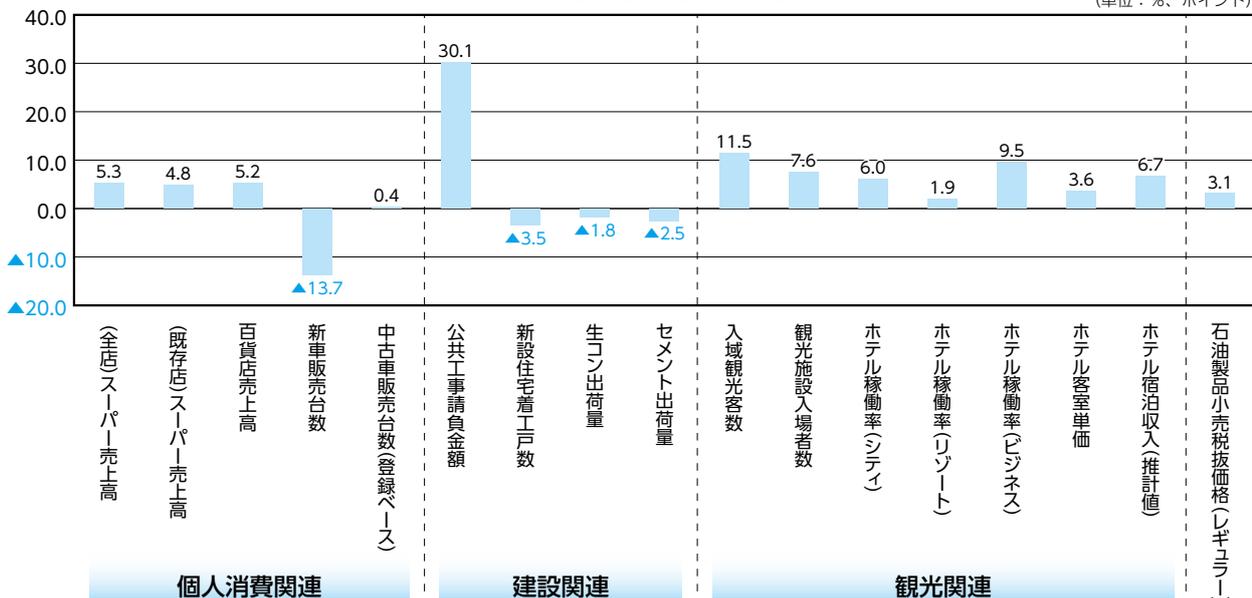
建設関連では、公共工事請負金額は、その他の公共的団体、市町村、国、沖縄県の発注工事の増加により前年同期を上回りました。建設資材である生コンとセメント、新設住宅着工戸数は前年同期を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同期を上回り、観光施設入場者数も前年同期を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同期を上回りました。ホテル客室単価は前年同期を上回り、宿泊収入（推計値）においても前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、公共関連は概ね堅調に推移し、民間関連はこのところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、**「県内景況は、回復している」**と判断いたしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





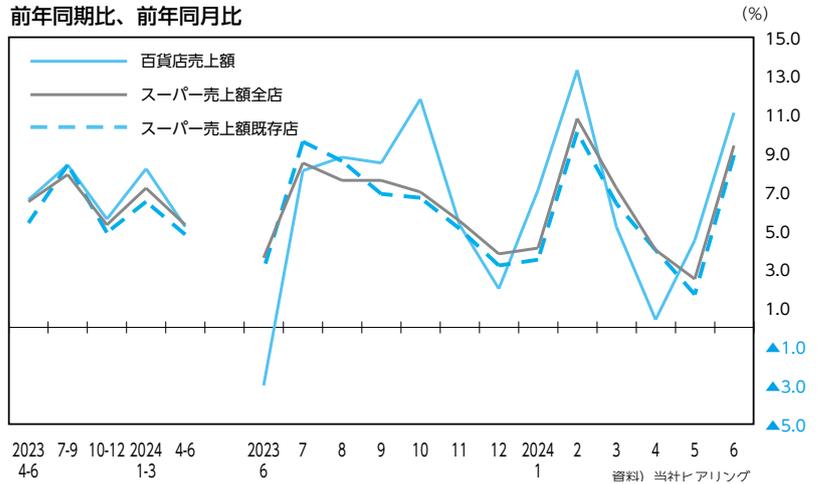
個人消費



(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2024年4-6月期の個人消費関連は、**スーパー売上高は「全店ベース(前年同期比5.3%増)」**で前年同期を上回りました。品目別では、「食料品(同4.4%増)」は物価高の影響などにより前年同期を上回りました。「衣料品(同6.2%増)」、「家庭用品(同10.6%増)」は来客数の増加などにより前年同期を上回りました。



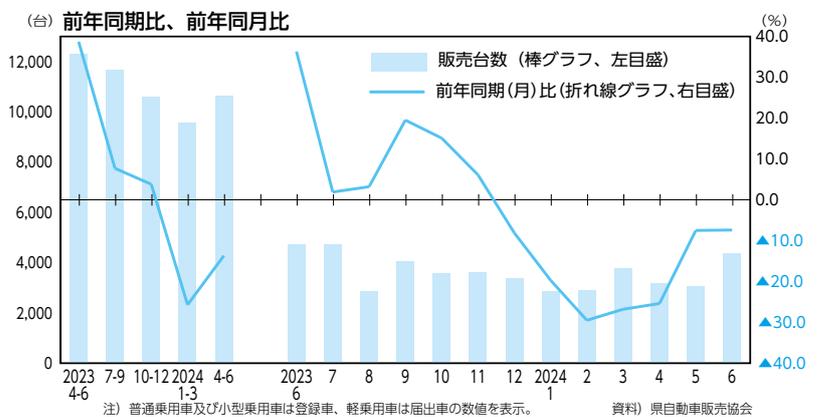
「既存店ベース(4.8%増)」は、前年同期を上回りました。(以下、既存店ベース) 品目別では、ウェイトの高い「食料品(同4.1%増)」は、物価高の影響などにより、前年同期を上回りました。「衣料品(同6.6%増)」、「家庭用品(同8.6%増)」は、来客数の増加等により前年同期を上回りました。

百貨店売上高は前年同期を上回りました。(同5.2%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同1.2%増)」は、外出需要の高まりなどにより前年同期を上回りました。「食料品(同11.3%増)」は、来店客数の増加や、催事企画が好調だったこと、一部物価高の影響などから、前年同期を上回りました。「雑貨(同10.4%増)」は、インバウンドの増加に伴う免税売り上げの好調などにより前年同期を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を下回る。

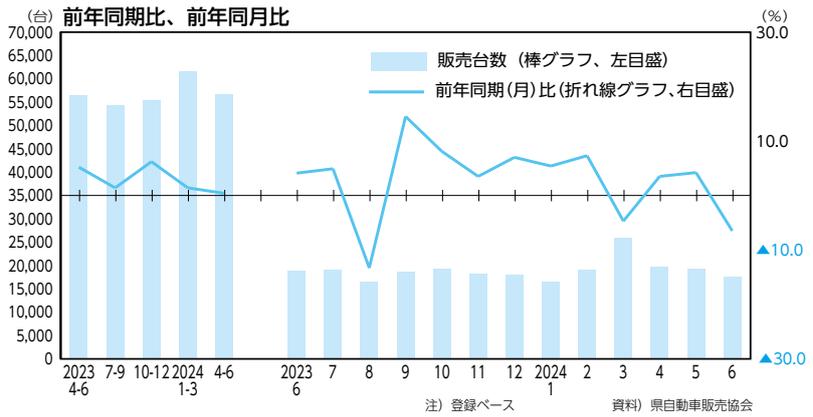
新車販売台数は、全体で10,629台(同13.7%減)となり、前年同期を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同12.9%減)」、「小型乗用車(同14.8%減)」、「軽乗用車(同16.8%減)」は、一部メーカーの出荷停止の影響などにより、前年同期を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



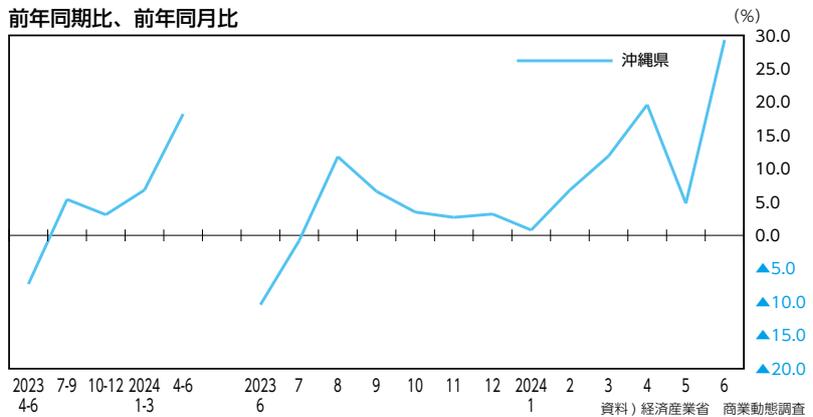
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を上回る。

中古車販売台数は、全体で56,746台（同0.4%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同4.5%増）」は、前年同期を上回りました。「軽乗用車（同2.1%減）」は、前年同期を下回りました。



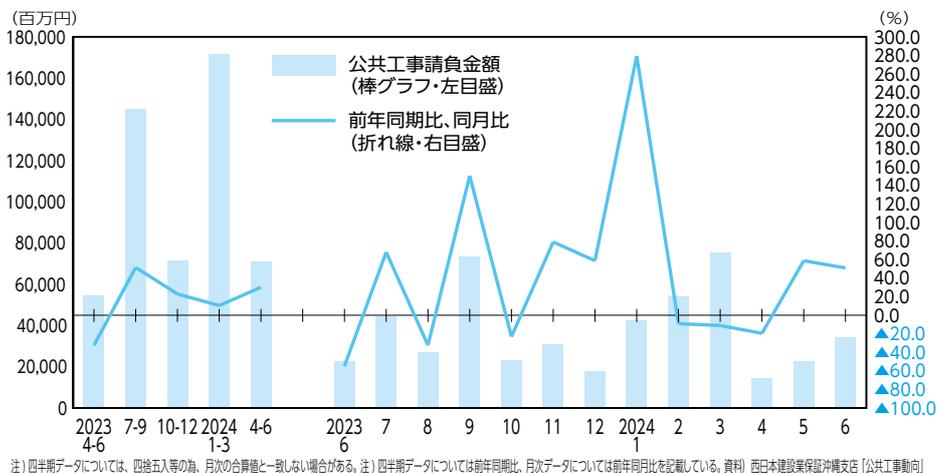
④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同期を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



建設関連 (ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

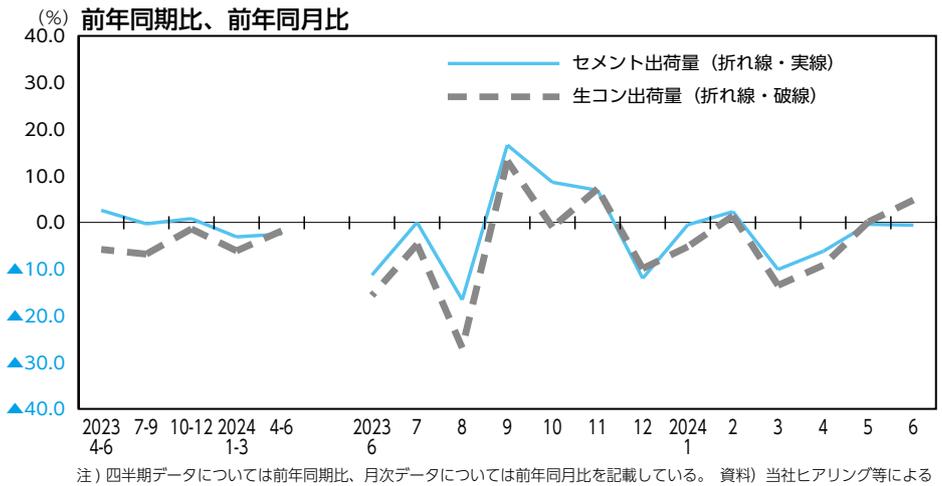


2024年4-6月期の公共工事請負金額は、前年同期比30.1%増の707億2,700万円となりました。発注者別で見ると、「その他の公共的団体（同288.6%増）」、「市町村（同31.9%増）」、「国（同39.8%増）」、「沖縄県（同5.2%増）」は前年同期を上回りました。一方、「独立行政法人等（同67.2%減）」は前年同期を下回りました。



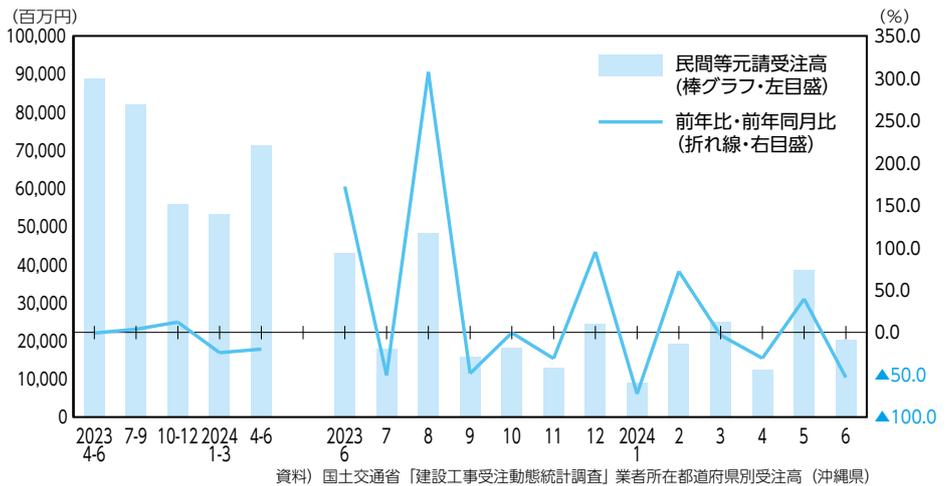
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同期を下回る。

2024年4-6月期の建設資材関連では、**生コン**の出荷量は1.8%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は2.3%増、民間工事向け出荷は3.8%減と前年同期を下回りました。**セメント**出荷量は2.5%減と前年同期を下回りました。



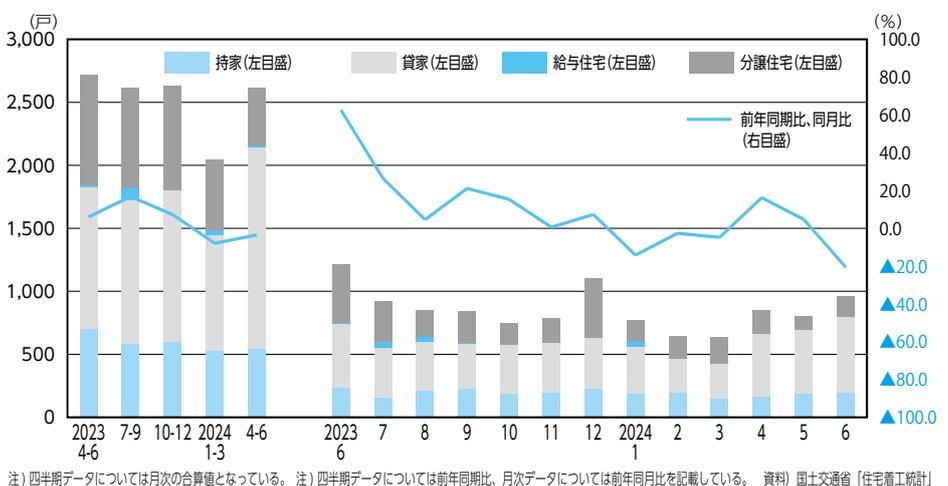
③ 【参考】民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年同期を下回る。

2024年4-6月期の民間等からの元請受注高は、19.8%減と前年度同期を下回りました。



④ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。

2024年4-6月期の新設住宅着工戸数は、全体で前年同期比3.5%減の2,618戸となりました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同46.4%減)」、「持家(同22.2%減)」、「給与住宅(同50.0%減)」は前年同期を下回りました。一方、「貸家(同42.2%増)」は前年同期を上回りました。

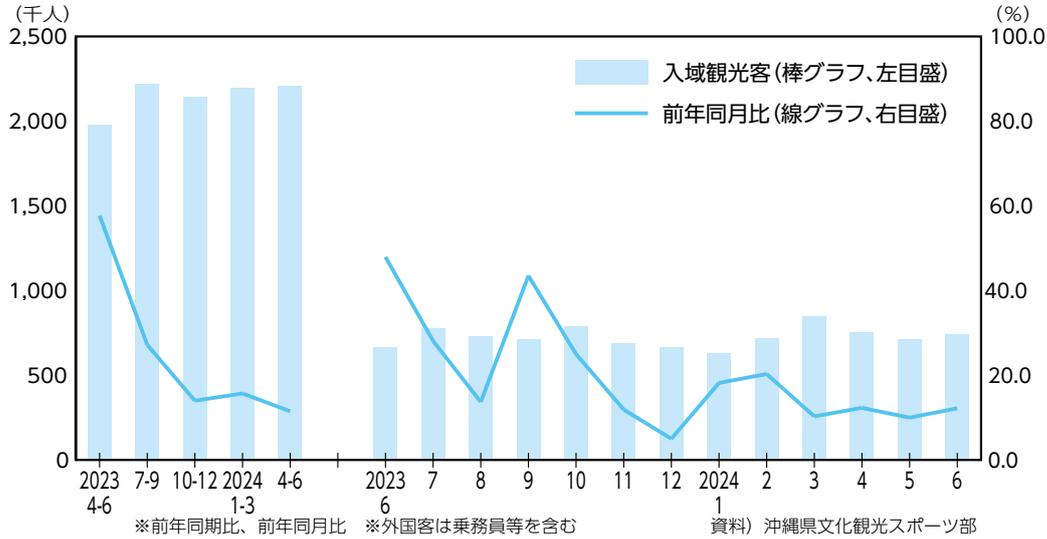


観光関連

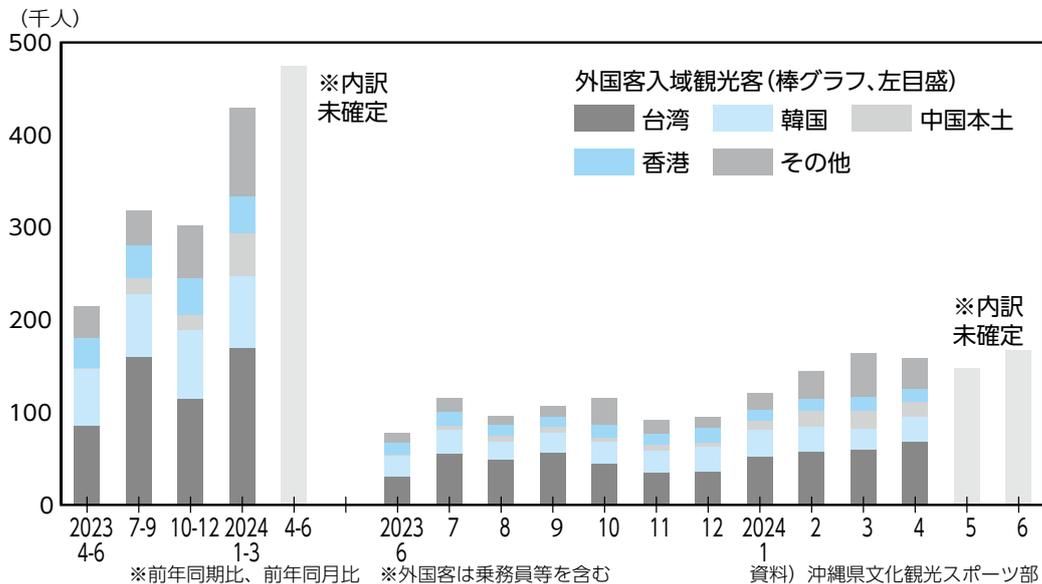


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。



② 外国客 入域観光客数…前年同期を上回る。



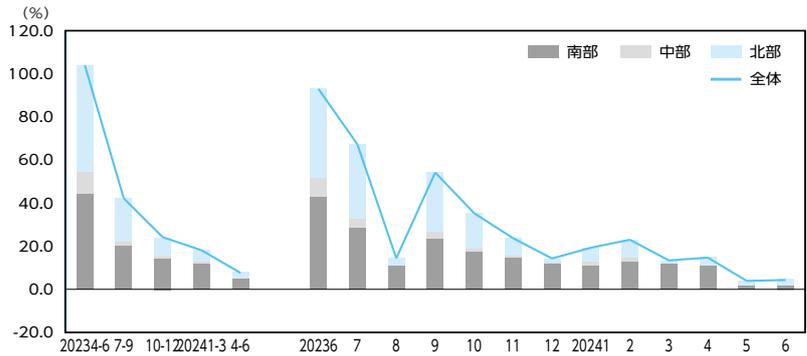
2024年4-6月期の入域観光客数は、旅行需要の拡大や外国人観光客の増加などから、10四半期連続で前年同期を上回りました。

外国客は各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、緩やかな回復がみられます。今後は団体旅行解禁などから、中国本土からの観光客増加が見込まれています。



③ 観光施設入場者数…各地域において前年同期を上回る。

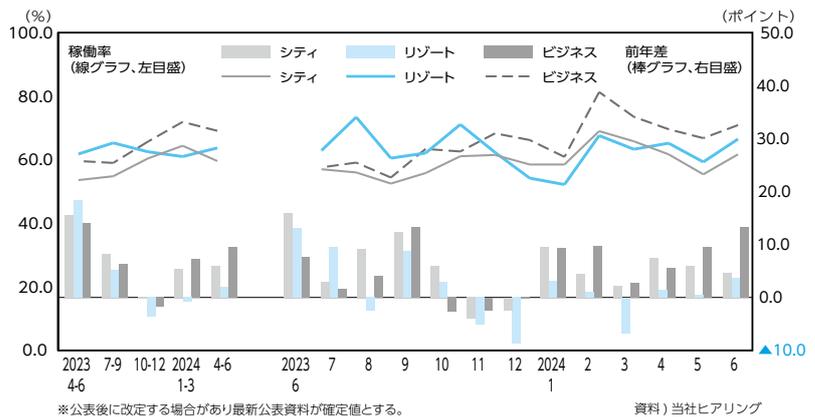
2024年4-6月期の観光施設入場者数は、全体では前年同期より7.6%増加しました。地域別にみると、南部にある観光施設は12.1%増、中部は6.0%増、中部は3.1%減となりました。



※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設 ※グラフは全体の寄与度を表示。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。注) 棒グラフは各地域の寄与度を表している 資料) 当社ヒアリング

④ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回る。

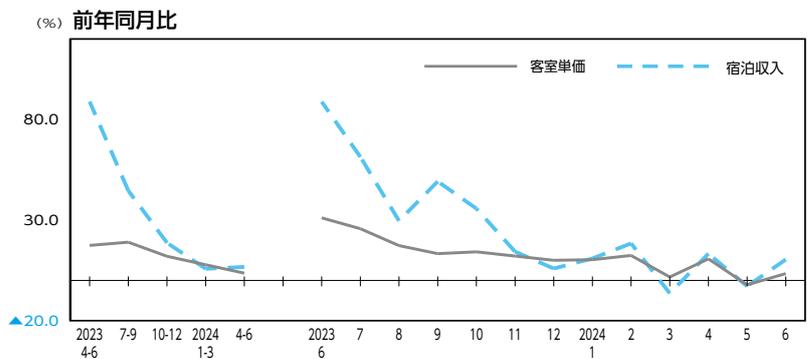
2024年4-6月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが59.6%と前年同期差6.0ポイント上昇、リゾートホテルが63.7%と同1.9ポイント上昇、ビジネスホテルが69.1%と同9.5ポイント上昇しました。



※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。資料) 当社ヒアリング

⑤ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同期を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート)は前年同期比3.6%増、**宿泊収入**も同6.7%増と前年同期を上回りました。



※対象施設数: 22施設 (シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く
 ※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。資料) 当社ヒアリング



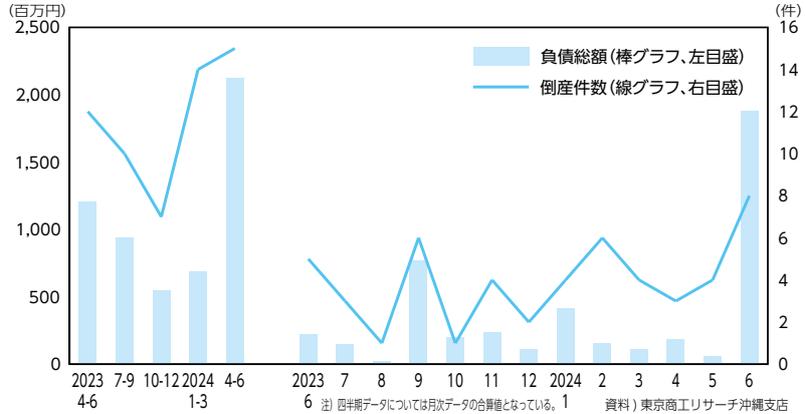
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を上回る。

2024年4-6月期の企業倒産件数は、15件（うち大型倒産（負債総額10億円以上）はなし、大口倒産（負債総額1億円以上10億円未満）は4件）となり、前年同期より25.0%上回りました。**負債総額**は21億2,200万円となり、前年同期を75.7%上回りました。



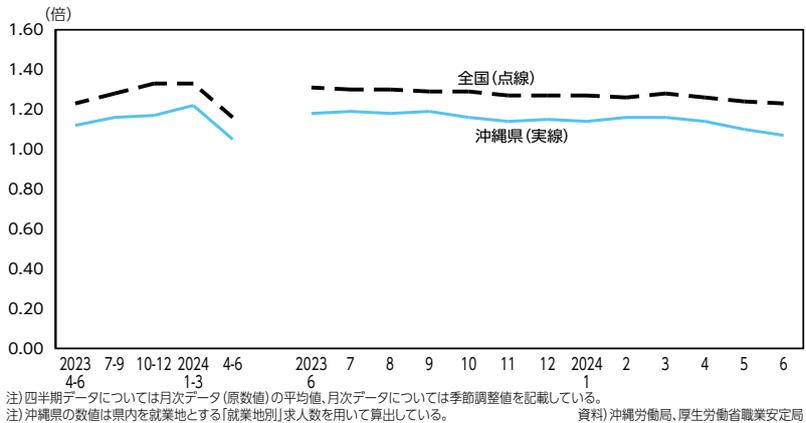
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…前年同期を下回る。

2024年4-6月期の雇用状況は、有効求人数（四半期平均）は前年同期比5.2%減の31,498人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比1.1%増の30,013人となり、有効求人倍率（同上）は1.05倍と前年同期より0.07ポイント低下しました。



② 完全失業率…前年同期を下回る。

2024年4-6月期の完全失業率 (原数値平均)は、3.3%となり前年同期より0.2ポイント低下しました。

